

**ロータリーを語り合う例会（青少年奉仕・米山記念奨学会） 松窪委員長**

日高文治ロータリー情報・研修委員長が「ロータリーを語り合う例会は、その時々テーマを皆で話し合う時間。普段考えたことのないテーマもある。会員相互に意見を出し合い、話し合うことで理解を深めてほしい」と挨拶した。萩原隆志青少年奉仕委員長が今回のテーマについて情報提供を行い、各会員はテーブルごとに話し合った。以下は萩原委員長の発言要旨。



**【青少年奉仕】** ロータリー情報マニュアルによると、「青少年奉仕」は、1923年のセントルイス国際大会で「善良で健全な市民を育てる」青少年奉仕活動が討議されたのがきっかけで、当初は社会奉仕委員会の小委員会として発足した。現在では、次世代や青少年育成の重要性から「青少年奉仕」はロータリーの五大奉仕の一つである。青少年交換、奨学生、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）などの各種活動を通じて青少年の才能と熱意を呼び起こし、奉仕と責任感を育てることを目的としている。当クラブは、鹿児島商業高等学校のインターアクトクラブ支援のほか、青少年交換では今年度はフィンランドへ留学生派遣事業を実施。昨年10月16日には第8回児童虐待防止イベントを11月13日には世界の子供たちの僕の夢・私の夢スピーチ及び絵画コンテストを開催した。来月15日には、ホストクラブとしてRYLAを開催する。会員一人一人が青少年にみえる形で、それぞれの奉仕を実践していくことが、青少年奉仕につながるのではないかと。

**【米山記念奨学会】** この2年間、馬麗娜さんのカウンセラーを務めた。馬さんは、クラブにとけ込み、活動にも積極的に参加していただいた。米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアン（ロータリークラブ会員）の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体。将来、母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としている。奨学生の採用数は年間720人。事業費は2013-14年度実績で12.4億円。国内では民間最大の国際奨学事業といわれる。これまでに支援してきた奨学生数は、累計で18,648人（2015年7月現在）。その出身国は、世界123の国と地域に及ぶ。多くの奨学生が世界で羽ばたき、国を越えた信頼関係づくりに役立っている事業だ。



**●ホームクラブ出席率 80%を目指しましょう！**

出席報告	第 2836 回	第 2834 回訂正
会員数	39(35)名	39(35)名
出席数	23(22)名	23(22)名
出席率	63.89%	63.89%

**●今後の予定**

3/21(火)	第9回 指宿 RC との合同例会
3/29(水)	賀寿の宴・観桜会
4/5(水)	職場訪問 (株)ソフィア

**市内ロータリークラブのプログラム**

★印は記帳メイクアップ受付があります。

RC	例会日	プログラム	例会場	RC	例会日	プログラム	例会場
東	3/16(木)	★中央 RC 合同例会 18:30	サンデイズイン鹿児島	東南	3/21(火)	財団事業について	サンロイヤル
北		会員卓話 弓場会員	レゾナント鹿児島	城西		★クラブ定款休会	東急 REI ホテル
サザン		外部卓話 NHK 局長清水様	東急 REI ホテル	西	3/22(水)	ロータリー賞贈呈式	山形屋
鹿児島	3/17(金)	会員卓話 勝谷会員	山形屋	西南		★クラブ定款休会	ゆうづき
中央	3/20(月)	祝日休会	山形屋				